新和中学校卒業式

3月14日、新和中学校で第30回の卒業式が行われ、26人の卒業生が思い出の詰まった学び舎を後にしました。今年度もコロナ禍のため来賓の出席はありませんでしたが、保護者、在校生、職員からの温かい拍手で入場し、寳校長先生から卒業証書を受け取りました。

続いて、校長式辞の中で、「夢を持ち実現しようとする心」「ありがとうという感謝の心」を大事にたくましく生きてくださいとあいさつ。答辞では、荒木泰心さんが、「この3年間がこれほど輝いて見えたのは、多くの人との奇跡的な出会いがあり、たくさんの輝いた跡、『輝跡』を残せたから」と生徒会テーマを取り上げて行事を振り返り、在校生へもエールを送りました。

また、保護者や先生方にも感謝の言葉を贈り、最後に一緒に過ごしてきた級友に向けて、「それぞれ進む道は違っても僕たちの絆は消えることはありません」と変わらない友情を誓いました。

26名の絆は永遠です

思い出を刻み、新たな旅立ち

最後に、目に涙を浮かべながら卒業生全員で「あなたへ」を合唱しました。

新和小学校卒業式

3月24日、新和小学校で卒業式が行われ、男子8人・女子11人の計19人が卒業しました。今年度も、コロナ禍の中での卒業式となりましたが、卒業生は、晴れ晴れとした気持ちで卒業の日を迎えることができました。

保護者と在校生が見守る中、温かい拍手に迎えられ、しっかりと胸を張り入場した卒業生。卒業証書授与では、一人ひとりの名前を呼ばれると大きな声で返事し、左村校長先生から誇らしげに証書を受け取りました。

卒業生と在校生との思い出を振り返る「門出の言葉」では、卒業生は、これまでの学校生活の思い出を振り返り、地域の方やお世話になった先生方への感謝の言葉と在校生へ託した思いを伝えました。在校生からは、卒業生一人ひとりに感謝の思いが贈られ、温かな感動に包まれた卒業式となりました。

4月から中学生となる子どもたち。新和小学校で学んだ「笑顔・挑戦・思いやり」を胸に、仲間とともに、自分らしく、たくましく成長していってほしいと思います。

思い出の詰まった校舎の前で

郡市対抗 熊日駅伝で疾走！

2月23日、第47回郡市対抗熊日駅伝が開催されました。今年は、えがお健康スタジアムを発着とする県民総合運動公園内の周回コースで行われ、8区間39・74㎞を19チームが駆け抜けました。

本町からは天草市代表として、大多尾出身の富田誠至郎選手が出場しました。

入賞を狙った天草市は、最長区間となる2区7・93㎞に富田選手を起用。各チームのエース級が出走する区間を力走し、天草市は昨年と同順位の11位でゴールしました。

富田さん、お疲れ様でした。

2区を力走！富田選手

地域おこし協力隊 退任あいさつ

地域おこし協力隊の北野です。

3月末で3年間の任期を終えて、地域おこし協力隊を卒業することになりました。

この間、はまぼう観察週間や神掛けの滝の整備など多くのプロジェクトに携わることができ、また、テレビやラジオ、SNSなどを活用しながら、新和町の魅力を発信し続けてこられたのも地域の皆さんのお力添えがあったからこそです。

3年間という短い期間でしたが、暖かく応援していただき、本当にありがとうございました。

新和の情報発信に尽力
ー「神掛けの滝」整備のようすー

しんわ楊貴妃伝説を紹介！

2月3日、県内のニュース番組に歴史研究家の平田豊さん（小宮地）が出演され、竜洞山に昔から伝わる『しんわ楊貴妃伝説』を紹介しました。

これは、夕方の某番組で、熊本に美人が多い理由を解き明かすという企画。世界三大美女の一人である楊貴妃に焦点があてられ、同伝説が取り上げられました。

取材では、楊貴妃の地名が記載された字図や、かつて楊貴妃が住んでいたと伝わる宮地浦地区の住居跡地、楊貴妃が宮南地区の「立の鼻」に到着するまでの歴史的背景を交え、平田さんが紹介しました。

番組の最後には、竜洞山からのすばらしい眺望と郷里を想う楊貴妃の美しい姿が映し出され、楊貴妃ロマンあふれる新和町が報じられました。

「楊貴妃という地名があるんですよ」

立の鼻で伝説を語る平田さん

「みつばちラジオ」公開放送

1月22日、市役所新和支所で「みつばちラジオ」の公開生放送が行われました。これは、市民にラジオに親しんでもらおうと同ラジオ局が各地域に出向いて放送をしているものです。

この日は、午後4時から6時までの「はちさんラジオ」のコーナーで、新和地区の旬の話題を紹介。大宮地地区振興会から「神掛けの滝」と、天草宝島観光協会から大多尾沖での「マグロウォッチング」が紹介されました。

滝の紹介で出演した同地区振興会の船元良己会長は、「生放送は緊張しました。多くの人に新和町に来ていただければ！」と話していました。

（みつばちラジオ関連情報をP6に掲載）

はちさんラジオ収録のようす

新和をアピールする船元会長